

平成28年第4回定例会 一般質問内容一覧

日時 平成28年12月5日（月曜日） 午前9時30分から

質問順 1番から6番まで

場所 新宮町役場 3階 議場

質問順	氏名	質問事項	具体的質問内容	答弁者	備考
1番	庵原 伸一 議員	1) 町立幼稚園での幼児教育・保育サービスの推進について	第5次総合計画に掲げられている「幼児教育・保育サービスの推進」について、町立幼稚園における取り組みを伺う。 ①町立幼稚園における保育サービスの充実を図るため、国の動向を見据えながら町立幼稚園における預かり保育を検討するとあるが、動向は。 ②町立幼稚園においても、幼保一体化を前提とした認定こども園などの新体制を検討するとあるが、新体制の検討はされているのか伺う。	教育長 町長	
2番	大牟田 直人 議員	1) ノーバディーズパーフェクト等の親支援プログラムの実施を	カナダ発祥の親支援プログラムであるノーバディーズパーフェクトプログラムは、0歳～5歳の子どもの親がグループの中で体験や不安を話し合うことで、子育てスキル等を高めることができるプログラムで、全国各地で実施されており、近隣の古賀市や福津市でも実施されている。参加者の子育ての悩み解消、虐待防止、地域のつながり作りに役立っており、受講後は地域で活躍されている方も多い。 本町は子育て世代の人口も増えており、こうした世代の人々が子育ての自信を感じること、そして信頼できる仲間とつながり、地域で活躍することが町の力になると感じる。本町でもこのようなプログラムの実施ができないか。町長の見解を伺う。	町長	
		2) 町立の教育施設に看護師の配置を	本年4月1日に「障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律」が施行された。町立幼稚園、小学校、中学校に通いたいと考える医療的ケアが必要な子どもが今後増えてくると思われる。全国には、看護師を配置している学校や、巡回看護師を配置している市町村もあり、今後増えてくると予想されている。 誰もが共に学べる環境を作るために、本町でも公共の教育施設に看護師の配置ができないか。町の見解を伺う。	町長 教育長	
3番	上畝地 白馬 議員	1) ネットシェアリングコミュニティの推進を	現在、ネットを通じて、住民同士が車の送迎やファミリーサポートなどをネットシェア化しながら地域づくりを行うという、ネットシェアリングコミュニティというものがあり、今後のまちづくりの新しい流れとなっている。これからの未来を見据え、ネットシェアリングコミュニティを推進し、さらに協働のまちづくりを推進してはと考える。そこで、NPO法人や企業などと協力して、ネットシェアリングコミュニティの環境整備を進める必要があると思うが、町の見解は。	町長	
		2) SNSを使った町民向け情報サービスの充実を	本町では情報サービスとして、ホームページや、広報誌などで町民向けに情報発信しているが、SNSを活用した情報サービスがまだ少ないと考える。 そこで、以下のような事業はできないか伺う。 ①町内住民へSNS（facebookなど）の積極的な登録を推進できないか。 ②SNSを活用した、健診の日程案内や行事イベント情報、災害時の緊急連絡などを含め、町民が必要な情報をプッシュ型通知で情報提供できないか。	町長	
4番	横大路 政之 議員	1) 新宮町における観光の位置付け・役割について	1、新宮町の観光振興に対する町長の考えについて、次のとおり伺う。 （1）町長が考える「観光」の定義とは。 （2）観光振興について、新宮町には観光地でよく目にするホテル・旅館や土産物店等の観光産業といわれる事業所は見当たらないが、観光振興による経済効果は期待できるのか、また今後、町づくりにどのように貢献していくのか伺う。 2、「おもてなし協会」の本年度の補助金は1,260万円となっているが、今後の予算措置の推移・事業展開・期待される成果について伺う。	町長	
5番	森 秀司 議員	1) 立花幼稚園における、園児確保のための対策を	平成28年度から町立幼稚園の園区が廃止され、園の選択が自由になり全地域から通園できるようになった。 立花校区は人口減少と高齢化が進んだ地域であり、乳幼児の人数も少ない状況である。そのことから、立花幼稚園では全地域から通園出来る取り組みを他園に先がけて平成27年度から実施し、園児増加が期待されたが、まだ十分な状況とは言えない。 今後さらに具体的な施策が必要だと考えるが、次のことを伺う。 ①現在の立花小校区内世帯の0歳から2歳までの人数は。また、教育長が考える立花幼稚園の適正規模は何人なのか。 ②例えば給食の導入など、他園との差別化を図れば園児も増加すると思うが、見解は。 ③現在、東部振興プロジェクトが進行中であるが、プロジェクトの中で若い世代の増加や定住化を促進し、児童数の増加につながるような施策は検討されているのか。	町長 教育長	
6番	矢山 尚司 議員	1) 子ども図書館の設置を	新宮町は、人口増加率3年連続日本一であり、特に子育て世代の転入が顕著である。「教育のまち新宮」を高らかに宣言し、平成25年度からの「第2次新宮町子ども読書活動推進計画」では、その基本目標を「豊かな心を育む人づくり～どこでも楽しく読書できる環境づくりと読書活動の推進～」としている。 町立図書館の現状は、ワンフロアの中に一般利用者向けスペースと子ども向けスペースが混在し、その中で、未就学児が走ったり騒いだりすることで一般の利用者に気兼ねして、親子で読書を楽しんだり、借りたい本の選択にも支障を来している。 本町の将来を担うべき、乳幼児から就学前までの子どもとその保護者の皆さんが気軽に利用できる図書館の整備が急務であると考えているが、教育長並びに町長の見解を伺う。	町長 教育長	

※質問事項、具体的質問内容については、原文のまま記載しています。

議会事務局

※役場、シーオーレ新宮、そびあしんぐらうにおいて、議会中継を行っています。是非ご覧ください。

※お手元のパソコンから新宮町議会にアクセスしてください。議会中継・録画配信を行っています。是非ご覧ください。

※議場での傍聴希望の方は、当日午前9時から受付を行ないますので、**役場議会事務局前**へおいでください。

※詳しくは、役場議会事務局 TEL 963-1737（直通）までお問い合わせください。

議会の傍聴にお越しください。